

自由國民

現代用語 の基礎知識

1954年度編集

政治用語(A)・中村哲明	工學用語・辻二郎
政治用語(B)・辻清	物理用語・茅誠司
法律用語・鶴飼信成	化学用語・朝比奈貞一
外交用語・横田喜三郎	生物学用語・湯浅明
軍事用語・高木惣吉	医学用語・高橋吉定
経済用語・高島善哉	薬学用語・宮木高明
財政用語・鈴木武雄	性科学用語・安田徳太郎
金融用語・山口茂	天文用語・萩原雄祐
貿易用語・上坂西三治	气象用語・和多顯彰
株式用語・野田康男	芸術用語・本今泉篤男
農業用語・近藤康男	音楽用語・吉田秀和
労働用語・大河内一男	映画用語・津村秀夫
共産用語・宮川実夫	演劇用語・山田肇
哲学用語・高桑純夫	ラヂオ用語・春日由三
宗教用語・岸本英夫	スポーツ用語・今和次郎
教育用語・戸川行男	風俗用語・大宅壮一
歴史用語(A)・林健太郎	新聞用語・新井正義
歴史用語(B)・西岡虎之助	世界の商品・脇村義太郎
地理用語・辻村太郎	各国の行事・井上勇
考古学用語・江上波夫	外来語・吉田健一
民俗学用語・和歌森太郎	

《附》時事地名録と世界人名録

全篇新稿の決定版

臨時増刊

自由国民社
発行

知っておきたい重要数字

時事年鑑編集長 池田雄蔵

——〈政治に関する数字〉——

憲法改正の必要条件は……各議院の総議員の $\frac{2}{3}$ 以上。国民投票の過半数
 戦争放棄の規定は憲法の……………第9條
 閣僚中に必要な国会議員の数は…………… $\frac{1}{2}$ 以上
 衆議院議員の定員は……………466
 参議院議員の定員は……………全国区100. 地方区150
 現在の党派別議院数は (昭和28年9月現在)

(衆)	自……202	分自……35	(参)	自……95	左社……43	無……4
	改……77	労農……5		緑……48	共……1	
	右社……66	共……1		改……16	無ク……10	
	左社……72	無ク……8		右社……26	純無ク……7	
		計……466				計……250

衆議院の総選挙は解散の日から……………40日以内
 日本と国交を回復した国は……………59カ国 (53.7.31)
 国連加盟国の数は……………60カ国 (53.7.31)

——〈軍事に関する数字〉——

世界各国の兵力は……

	陸軍 (兵力)	海軍 (巡洋艦以上)	空軍 (機数)
・米国	1,550万	空母 102 戦 15 巡 74	35,000
・ソ連	320万	戦 4 巡 17	20,000
・英国	45万5千	空母 14 戦 5 巡 24	6,600
・中共	500万	— —	2,500
・中華民国	60万	— —	300
・フランス	83万	空母 3 戦 2 巡 5	556

各国軍事費の総豫算に占める割合は……米59% ・ 英35% ・ ソ24%
 保安隊の現有兵力は……………約11万名
 防衛関係の豫算は……………1,238億圓 (28年度)
 防衛分担金の額は……………507億圓 (27年度)
 接收地の補償は農地一反歩当り……………39,000圓

——〈財政に関する数字〉——

昭和27年度の歳入は……………20,198億圓 (一般特別総計)
 昭和27年度の歳出は……………17,967億圓 (")
 昭和28年度の豫算は……………9,682億8,000万圓
 通貨発行高は……………5,269億圓 (53.8月末)
 日銀券の最高発行限度は……………4,700億圓

対日援助費の総額は.....18億ドル(50年6月打切)
 外債の総額は.....約880億圓(外に未払利子500億圓)
 国有財産現在額は.....

	数 量	金 額
土地	8,502,309,5726.182 歩	898,218,918.983 円
立木竹	965,627,971.871 石	1,146,938,528.957 "
建物	延 2,502,746.8876 坪	340,556,091.776 "
工作物		951,798,388.161 "
機械器具		238,739,750.400 "
船舶		29,468,297.160 "
法二條第一項五 号に掲げる権利	6,850,2616.91 歩	1,020,645.800 "
有価証券その他		124,751,350.000 "
合計		3,731,491,971.237 "

銀行・郵便貯金の利子は..... } 普通預金日歩6厘(2.19%)
 } 郵便貯金年3分9厘6毛
 税金滞納額は..... 540億圓
 圓の為替レートは..... 1ドル 360圓

——《産業に関する数字》——

払込資本総額は..... 4,188億圓
 鑛工業生産指数は..... 149.9 (53.3. 1934~36基準)
 鉄鋼の生産高は..... 銑鉄 3,474,204トン(27年) 鋼材6,988,359トン(27年)
 石炭の月間生産高は..... 約400万トン
 国鉄総延長キロ数は..... 33,559秆(内電化3,981秆)(53.3)
 国鉄総営業キロ数は..... 19,902秆(53.3)
 国鉄で使う石炭は年に..... 約600万トン
 日本の発電量は..... 約36億KW
 電源開発で増える発電能力は..... 49年着工分478,000KWH 50年 ナシ
 51年着工分1,249,000KWH 52年着工分1,177,000KWH
 米の27年度産高は..... 66,152,000石
 米の反当り収穫高は..... 2.18石(27年度)
 米の平年作は..... 62,448,000石
 麦の平年作は..... 三麦合計22,674,600石
 窒素肥料の国内消費量は..... 1,576,284トン(25肥料年度25.8~26.7)
 不足食料は..... 27年米輸入1,101,000トン
 特需による27年度の収入は..... 7億8,000万ドル

——《土地と人口の数字》——

日本の面積は..... 3,683,000方秆
 日本の人口は..... 84,541,000人
 日本の出生率は..... 約2.6%
 日本の死亡率は..... 約1%
 7年後の人口は..... 95,061,000人(1960.10.1)
 日本の公務員数は..... 約150万人(53年3月)
 労働人口は..... 39,510,000人

組織労働者の比率は.....40%

職業別人口比は.....

農業 45.3% 水産業 1.9% 鑛業 1.6% 建設業 3.9% サービス業 8.9%
商業 10.8% 製造業 15.9% 公務 4.2% 運輸通信公益事業 5.1%

失業者数は.....約50万人

世界の総人口は.....約24億 (1950年推定)

人口密度の各国比は... { オランダ 135 日 本 100 イギリス 92 ドイツ 33
フランス 34 アメリカ 8 ソ 連 4 ブラジル 3

世界主要都市の人口は.....

ロンドン	8,346,137	モスクワ	4,137,018
ニューヨーク	7,835,099	シカゴ	3,606,436
上海	6,000,000	東西ベルリン	3,199,638
東京	5,385,071	レニングラード	3,191,304
パリ	4,951,000	メキシコ・シティー	3,053,588

今度の戦争で失った日本領土の割合は.....45.5%

———〈国民生活に関する数字〉———

27年度の国民所得は.....5兆2,000億圓

〃 貯蓄額は.....901億

〃 税金負担額(国税)は.....756,677(百万圓)

〃 一人当り税金負担額(国税)は.....8,920圓

勤労者一世帯当りの収入は.....約22,600圓(53.4)

天皇の歳費は.....3,800万圓

皇族費の一年の定額は..... { 独立の生計を営む親王195万圓、同妃90万圓
夫を失った独立の生計を営む親王妃195万圓

国会議員の収入は..... { 歳費月額 78,000圓 通信費月額 10,000圓
立法調査費月額 10,000圓 滞在費1日2,000圓

消費水準の回復は.....1934~36年を100として83.6%(53.5)

全国平均のエンゲル系数は.....48.5%(53.4)

成人に必要な一日のカロリーは.....2,500カロリー

不足住宅数は全国で.....315万戸(建設白書)

———〈教育と文化の数字〉———

小学校と小学生の数は.....校数 21,7 学生数 11,148,359

中学校と中学生の数は.....校数12,455 学生数 5,186,848

高等学校と高校生は.....校数 3,231 学生数 2,527,426

大学と大学生の数は.....

新制226 学生数446,927 旧制63 学生数21,054 短大228 学生数64,197

全国の自動車数と一台当り人口は.....759,757台(52年末)113人

全国の電話数と一台当り人口は.....1,973,874台(52.3.31) 43人

全国のラジオ数と一台当り人口は.....1,092万 8人

(註・以上は特に附記したもの以外は、28年8月末現在の数字である。)

動を指導すると同時にレジスタンス運動に關係、四四年全國抵抗評議會議長。四五年世界勞務連結成と共に書記長。共產黨員ではないが親ソ派で知られる。一九一〇年生。

マニニー (George Meany) アメリカ勞働總同盟 (AFL) 米國の二大勞働團體の一つの會長。ハイスタール卒業後、早くから勞働運動に投じて、ニューヨーク州勞組同盟長、AFL會計部長を経て、一九五二年前會長グリーン氏の死去で現職に就任した。一八八九四年生。

ルーサー (Walter Reuther) 米産業別組織會議 (CIO) 米國の二大勞働團體の一つ、および全米自動車工業勞組會長。一九五二年十二月マレー前會長の死去のあとをうけて、CIO會長に選出された。CIOはAFLに比べて革新的色彩が強く、政治的活動を積極的に進めているがその中心人物。一九一七年生。

対日關係

フレンチ 將軍 (Francis Stewart Gilderoy Piggott) 伊藤博文公の法律顧問
 テイラー・ピット博士を父に持ったため日本で育ち、駐日英大使館陸軍武官となり、日英外交に活躍。有名な親日家。

日英外交六十年の裏面史を綴つた著書『斷られたきずな』(一九五〇)は邦譯出版された。一八八三年生。

ハンキー 卿 (Maurice P. A. Hankey) 元英内閣無任所相。中近東問題の權威。戦後は國際會議の議長を歴任、親日家として有名。戦犯裁判の非を説き、重光葵氏らの釋放運動に盡力した。子息のロバート・M・A・ハンキー氏も志を繼いで外交界に活躍、イラン公使、エジプト駐在代理大使などをやつている。一八八七年生。

グルー (Joseph C. Grew) 元駐日大使(一九二一—四一)。米國切つての日本通。米對日問題審議會名譽會長。一八八〇年ボストン生。一九二四年國務次官、二七年駐トルコ大使、戦後著書『滞日十年』の印税五百萬圓を日本に寄付、日米友好グルー基金設立、日本キリスト教大學創立米側募金委員長。

クレイギー (Sir Robert Craigie) 一八八三年生。元駐日英大使。現在第一線を退いているが、英外交界の元老で、知日家として有名。一九二七年から大戦勃發までの駐日大使時代の経験からものした『Behind the Japanese Mask』は同期の米大使J・グルーの『滞日十年』に比較されている。趣味はゴルフ。

マッカーサー (Douglas Mac Arthur) 米陸軍元帥。一八八〇年生。陸士卒。三〇年陸軍參謀總長。三七年退役。太平洋戦争直前現役復歸。極東軍總司令官、連合軍總司令官。四四年元帥。四五年八月日本進駐、占領軍總司令官。五一年四月極東政策で政府と對立し解任。五二年七月レミントンランド會社取締役會長。政治的には共和黨を支持してゐる。

ヴァイニング (Elizabeth G. Vining) 米教育家。ペンシルヴァニア州ジャーマンタウン生。ジャーマンタウン・フレンド・スクール卒、青少年のため多くの著書あり。一九四五年から五年間皇太子の家庭教師、勳三等寶冠章授與さる。近著『皇太子のための窓』。

ドッジ (Joseph M. Dodge) 米豫算局長。一八九〇年生。デトロイトのセントラル貯蓄銀行給仕から一九三三年四三歳でデトロイト銀行頭取となつた立志傳中の人。四七年全米銀行協會長、西獨米占領軍司令官金融顧問、日本占領米總司令部顧問として戦後のわが經濟立直しに盡力、五三年現職。

マーフィー (Robert D. Murphy) 國連軍總司令官政治顧問。五二年四月から一年間、戦後の初代駐日大使として在任した。五三年四月國務次官補(國連關

ナとして世界的な存在。古典から近代バレエまで藝域が極めて廣く。

リファール (Serge Lifar) パリ・オペラ座の首席男性舞踊手、フランス・バレエ界の第一人者。ロシアのキエフに生れ、十七歳の時渡佛、ジアレフのバレエ團に入り一九二九年『狐』にデビュー、ジアレフの死後パリのオペラ座に入る。五二年には來日公演した。一九〇五年生。

崔承喜(女) (Choei Sung-Hi) 終戦まで日本における世界的舞踊家として有名であつた。戦後北鮮へ引揚げ四七年人民會議代議員となる。四九年北京のアジヤ婦人代表會議に出席、五年以來北京に崔承喜舞踊訓練班を主宰し、五二年『共和國功勳俳優』の稱號をうけ『赤い舞姫』として活躍してゐる。

社会活動と労働運動

ボイド・オア (Sir John Boyd Orr) 英國際貿易振興會々長。食糧問題の専門家であり平和擁護運動家でもある。世界的に有名なローエット栄養研究所を設立。一九四五—四七年國連食糧農業機構 (FAO) 事務總長。四九年度ノーベル平和賞を受く。五二年モスクワ經濟會議

に出席、最近中共との貿易振興に努めてゐる。一八八〇年生。

ラルフ・バンチ (Ralph J. Bunche) 國連信託統治部長。ハーヴァード大學教授。一九〇四年生れの黒人。ハーヴァード大學卒業後政治學教授。第二次大戰中合同參謀本部戰略局及び國務省勤務、四年以來現職。四八年パレスティナ戰爭調停官代理として休戦を實現、五〇年ノーベル平和賞受賞。

ロックフラー三世 (John D. Rockefeller III) ロックフェラー財團理事。米國の石油王故ジョン・D・ロックフェラーの孫。一九〇六年生。プリンストン大學卒。五一年ダレス使節團顧問として訪日したほか數回日本に來訪した。

サンガー夫人 (Margaret Sanger) 米産兒制限運動家。一八八三年、ニューヨーク生。米官憲の壓迫に屈せずBC (産兒制限) バイス・コントロール) 運動三十餘年。米産制連盟を創設、世界一周、二二年日本、中國にBC連盟創設、二七年世界人口會議招集、著書多し。日本へも三回來訪した。

ルーズヴェルト夫人 (Anna Eleanor Roosevelt) 故ルーズヴェルト大統領夫人。一八八四年生。米社會學者。一九二四年ニューヨーク州民主黨委員會婦人部

財政委員長、四六年ロンドン國連總會米代表、四七—五一年國連人權委員長、四九年第四回國連總會米代表。著作は『女性の役割』『私の物語』『私の毎日』『思ひ出すこと』など多數。五三年五月日米文化交換使節として來訪、全國講演行脚、基地、混血兒問題で内外に多大の感銘を與えた。

ロブソン (Paul Robeson) 米國黑人歌手、俳優。また社會運動家。一九二三年ハージン・オニールの『皇帝ジョーンズ』で舞臺に立ち、のち『ショーボート』『オセロ』など演劇、映画で一躍名を賣つた。度々ソ連をも訪問、各種左翼團體に加入してゐる。五二年スターリン平和賞を贈られた。一八九八年生。

ジュオー (Léon Jouhaux) 佛労働運動一方の旗頭で國際自由勞連の指導者。五一年度ノーベル平和賞授賞者。一九〇九年勞働總同盟 (CGT) 書記長、第一次大戰以來階級協調主義をとる。第二次大戰中獨軍捕虜、戦後CGTに復歸、反共的立場から世界勞連副議長を辭任、CGTも脱退。一八七九年生。

サイヤン (Louis Sallant) 世界勞連書記長フランス人。家具工出身で戦前CGT (佛労働總同盟) の中堅幹部として活躍。フランス降伏後CGTの非合法活

動を指導すると同時にレジスタンス運動

係擔當)に任ぜられたが、就任に先立ち朝鮮問題に關連して國連軍總司令官を補佐。戰時中、アフリカで對獨謀略に活躍、四五年ドイツ駐在米軍政長官の政治顧問。一八九四年生。

ウイルフレッド・築山(築山長松) 米ハワイ準州の上院議長。ハワイ生れの日系米人。シカゴ大學を卒業後、辯護士、ホノルル市裁判所副檢事を経て、一九四八年日系人として初めて、上院議長に選出された。共和黨員、第二次大戰で日系兵士の拔群の勳功で日系市民の地位は向上したが、氏はその代表的人物である。

マイク・正岡 米國の日系市民協會ワシントン駐在理事。日系市民の差別待遇撤廢問題などについて活躍するロビイスト(議會運動員)として民主、共和兩議員内に有名。排日法撤廢にも努力、「二世の父」と呼ばれている。ユタ州立大學卒、一九一五年カリフォルニア生。

アリソン(John M. Allison) 駐日米大使。最初小田原中學の英語教師として日本に來たが、外交官に轉じ、三二年神戸駐在副領事となり、大連領事任中日米開戦により交換船で歸國。四六年日本課長、四七年東北アジア局長、五一年對日平和條約實現についてダレス氏を援け、五二年國務次官補。五三年五月現職。

デニング(Sir Estler Denning) 一八九七年生。駐日英國大使。英外交官中有數の極東通。本省ワシントン大使館在勤を除くと外交官生活の大半を極東で過している。日本、朝鮮、フィリピン、滿洲その他東南アジア一般。殊に在外生活の最初が在日領事館勤務。四六年外務次官補、五一年駐日英代表團主席、五二年初代大使。陸軍中尉。

ラウフ(Rauf, Mohammed Abdul) 一九〇一年生、駐日インド大使。オックسفোর্ド大學卒業後一九四一年までラングリン高等裁判所辯護士、四二―四五年アラハバット高等裁判所辯護士、一九四七年ビルマ駐在インド高等辨務官、四八年同インド大使、五二年現職。

ジアウディン(Ziaud-Din, Mian) 一九〇一年生、駐日パキスタン大使、ベシヤワルのイスラミヤ大學卒、二六年檢事生活に入る。三七年回教連盟北西邊境支部長、三八年全印回教連盟會員となる。四九年國連總會代表、國連朝鮮統一復興委員會初代委員長として活躍、五三年現職。

董顯光(Tung Hsien-Kuang) 一八八五年生、現在國府駐日大使。米國に留學コロンビヤ大學文學博士。ニューヨーク・タイムズ記者を振出しに新聞界に入

り、二一年ホノルル國際新聞會議に中國代表として出席、二六年吳佩孚將軍の外交顧問、その後中國の英字紙等の主筆として健筆をふるい、戰後は國府中央宣傳部次長、新聞局長、行政院政務委員、五二年駐日大使に赴任するまで總統府國策顧問、臺灣中央日報社長等の職にあつた。

その他の

ガンサー(John Gunther) 米ジャーナリスト。一九二二年シカゴ・デーリー・ニュース記者、三六年まで歐州各地特派員、のち作家生活に入る。その足で見た「歐州の内幕」「アジアの内幕」「鐵のカートの内幕」など一連の内幕もので有名。戰後作には「マッカーサーの謎」がある。一九〇一年生。

ピアソン(Drew Pearson) 素破拔きで有名な米評論家。ラジオ解説者。一八九七年生。一九三二年以來、毎週『ワシントン・メリーゴーラウンド』を執筆し、全世界六百五十餘の新聞に掲載されている。コロンビヤ大學教授を勤めたこともある。

リップマン(Walter Lippmann) 米外交評論家、一八八九年生。ハーヴァード大教授からジャーナリストに轉向、

に起つた府中の花火工場の大
 惨害が、この火薬の自然發火
 が原因とみられるにいたり、
 反響をよんだ。

麻雀グループ 吉田首相
 側近派のうち、特に緊密な關
 係にある連中が麻雀會に託し
 て黨内人事や財政面などの方
 針を相談しているのを呼んだ
 もので、白洲次郎、麻生和子、
 池田勇人、福永健司などがそ
 の主なメンバー。いわば戦前
 近衛文麿を中心とする「朝飯
 會」の戦後版。

逆コース 昭和二十六年
 讀賣新聞が朝刊のつづきもの
 として、現在日本の政治、社
 會、風俗の復古調、懐古調、
 軍國調などを皮肉り、その題
 に「逆コース」と名づけて以
 來、とみに使われるようになって
 つた。元來た道、コースを逆
 もどりする日本人の浮薄性、
 無思想性、無批判性、復古主
 義を痛撃している。右翼の復
 活、チャンバラ全盛、再軍備、
 破防法など……この道はいつ
 か來た道のようにだといわれる

のはこれである。

バックボーン (Backbone) 脊骨、中軸、人間の身體
 の主柱が脊骨であるように、
 民族や國、政黨、團體などの
 主柱となるべき勢力とか人物
 や精神的な主柱をバックポー
 ンと呼ぶようになった。例え
 ば敗戦までの日本は、精神的
 には大和魂とか、天皇至上主
 義などがバックボーンとして
 貫かれて來たが、獨立した日
 本のバックボーンは未だ混迷
 状態であるの如くに使う。

スラム街 (Slum) 貧民窟、
 裏街の意で、英國ならロンド
 ンのイースト・エンド、日本
 なら東京の深川、龜戸などの
 地域がこれにあたる。

蟻の街 東京隅田公園に
 ある集團バタ屋部落の名稱。

昭和二十五年一月、日本演劇
 界の恩人故松居松翁の遺兒桃
 多樓さん(四十)が指導してで
 きた四十三世帯、百餘人の合
 理的協同組織を持つ部落。「悪
 いことはしません」の誓約で
 仲間に入れ、一日一圓の積立

で共同購入、共同浴場を建て、
 集めた紙クズ、古物類は蟻の
 銀行で引取り支拂を代行、問
 屋に賣る仕組。キリスト教の
 禮拜堂を建設、また「バタヤ
 大學」も開いた。

風太郎

フータロウでな
 く、プータロウと讀むのが本
 當。横濱市櫻木町驛近く、花
 咲町の石炭ビルを起點とする
 一帯に根城を持つている日雇
 勞務者たちのこと。その日ぐ
 らし、風の吹くにまかせた風
 來坊的存在からこの名が出た
 らしい。約三千人おり、その
 三分の一は港灣の荷役人夫、
 他は職安を通じて仕事を求め
 ており、一日三百圓から四百
 圓の働き。「おけら横丁」「く
 すぶり横丁」は彼等の巢だ。

街の經濟

スカイ・サイン (Sky Sign)

飛行機の煙幕で文字や
 形を書いて人目を引きつける
 宣傳廣告の一種のこと。
動くネオン いままでの

ネオンは、點や線の點波と交
 錯だけであつたが、最新式の
 もものには、ちようど、一筆書
 きのように、端から端へすー
 うつと動いて行くネオンがで
 きた。流動點滅器という特殊
 裝置がいるので、普通のより
 ずつと高くつく。

アイ・キャッチャー (Eye Catcher) ビクター・レ

コードの犬、サンスターのペ
 ンギン鳥、レスタミン「コー
 ワ」の蛙のように、人目をひ
 く宣傳用廣告の主人公。

P・R ただ營利一點張
 りの廣告でなく、その製品の
 社會的な價值、工程などを親
 切に説明して、廣告にも公共
 的のつながりを與えようとい
 うのがねらい。P・Rとは
 Public Relations の略。

幽霊會社

何等法的な手
 續を踏んでない名前だけの會
 社、あるいは名前は登録して
 あつても株金の拂込みなど全
 然行われていない會社。そう
 いう會社でも社長とか専務と
 かいう肩書のついた名刺を振

り廻すと、一應世間は信用するるので、不渡り手形を濫發したり、デタラメの資産表を見せて借金したりして、詐欺の足場に使うものが多い。

トンネル會社 早くいえ

ばブローカーのようなもので、官廳その他の物品拂下げ、寄託工事などを一手に引受けて、利益をとつてその物品なり工事を他に廻すもの。官吏の古手が會社の主要部に居て顔をきかず仕組み。

社用族・公用族 會社や

官廳の主催する宴會や、業者の招待で大盡振舞をやるなどすべて社用と稱して飲んだり、食つたり、さまざまな恩恵にあずかつている最近の役人や會社員を皮肉つた言葉。戦後現われた斜陽族に代つて最近はおつぱらこちらが横行している。官廳人種だけを公用族ということもある。

つまみ食い 鑛工品公園

の一下級職員が公金三億圓餘を勝手に浮貸して、その八千萬圓餘を横領した際、當時の

公園の藤澤總裁は新聞記者に對し「あれくらいは女中のつまみ食いに等しい」といつたとかで、その腐敗ぶりに世間をさらに驚かした。

さんずいへん 糸へん、

金へん、にんべん（その項参照）の没落に續いて、料理屋、待合で豪遊した汚職族のこともあるまいに、しまいにはぎようにんべんと敷衍された。

ニコ四

日雇労働者が職業安定所からもらう一日の賃金が受取二百四十二圓だつたので、労働者仲間でのこの名ができた。失業増加とともに安定所は毎日同じ人間を就業させられなくなり、昭和二十五年九月一日から**輪番制**（一日働き一日豫備員、一日は休み、大體三日に一回の就業）をとつて以來、「完全就業」を叫ぶ「職安デモ」が増加したその後日當は上つたが、ニコ四の名は今や固定化した。

五せる

官公吏すなわち役人は「國民の公僕」といわ

れるようになったが、まだまだ民衆の生活の眞の擁護者でない點もあり不正な役得を受けている者も多い。これを痛烈に皮肉つて、役人には、食わせる・飲ませる・握らせる・抱かせる・いばらせるの五つでもつて懐柔するのが秘策である、と盛んにいわれるようになった。

麻雀戦術

商事會社などでは、取引先や關係官廳を接待する形式の一つとして麻雀を用いることが流行している。つまり麻雀をして、わざと相手に勝を譲り、多額の賞金もしくは賞品を與えるのであつて、贈賄の一形式にほかならない。

ゴルフ戦術

ゴルフはスポーツの中でも一番金がかかるので、よほど餘裕のあるものでなければできないものとしていたが、近頃は二流、三流會社の部長、課長級や各種の外交員までが、無理をして道具をととのえてやるようになった。このスポーツ

を樂しむというよりも、それを通じて、重役と個人的に接觸するチャンスをつくつたり、取引筋や金融關係の有力者に近づきになるのが目的である。

サラリーマン重役

戦後

の大變動、追放などで戦前の大物重役が退陣したのに代つて、大株主でなくとも、社員の推薦などで登場した若手重役のこと。

三等重役

サンデー毎日

に連載された源氏鶏太作の小説。ベストセラーとなり、映畫、芝居にもなつた。戦後いまままでの重役がページになつたあと登場した社員から思わぬ重役になつた「なり上り」が、かもしだすユーモアとペーソスが時流にマッチしたのがうけた原因で、以來、小會社のなり上り重役や、サラリーマン重役などを皮肉るのに三等重役を名をもつてし、三等國、四等國日本を風靡した感がある。

社外重役

時々會社に顔

を出し、盲ら判をつく非常勤重役。その會社の株を多くもつてゐるか、古手役人、銀行家等の關係筋に顔の利く連中が多い。

バーゲン・セール (Bar-bain Sale) 見切品賣、大安賣、格安賣のこと。

S・S運動 Service Shop 運動の略。販賣する商品の「品質表示」「正札明示」「メーカーの表示」の三つの事柄を勵行する小賣店サービス店として各府縣で指定し、消費者の利益を守り、悪徳商人を一掃するのがそのねらいである。

イージー・ペイメント (Easy Payment) 商品の月賦購入による分割拂い商品を買ふ場合、約束の金額を毎月支拂い、ある一定の金額になると初めて品物が手に入り、残金をさらに分割するといふ方法が多い。

労働金庫 労働者のための金融機關で、國や都道府縣がその指導監督の任に當つて

いるのであるが、わが國における労働金庫は、昭和二十五年八月、岡山縣下の労働組合と生活協同組合が設立したのがはじめである。事業の内容は普通の銀行と同様で各種の貯金、手形割引等を營む。

こども銀行 昭和二十三年大阪の小學校で始めた。お小遣いを無駄にせず、皆の力で貯蓄しようとする児童たちで校内に銀行をつくつたのが起りで、形式は親銀行が市中銀行の時は、その支店となつて○こども銀行と呼ばれるが、このほか郵便局、農業協同組合等を本銀行にしている處も多い。

おめでた貯金 郵政省が昭和二十三年十二月から始めた新考案の慶祝用定額郵便貯金。結婚、出産、入學、卒業などおめでたい機會を記念して貯金させるといふのがねらい。定額貯金同様、一口百圓以上三千圓までを一回限り預け入れ、六カ月の据置期間が過ぎるといつでも拂い出せる

仕組になつてゐる。
イージー・オーダー (Easy Order) 洋服屋があらかじめ、大、中、小の三通り位に仕立てておいたものを、注文がある時、一部分つめたりのばしたりして、客のからだに合わせる仕組みである。注文品と既成品の丁度中間で、注文品よりは値段が二、三割がた安い上に仕上りが早く、既成品に比べるとよくからだに合うようになつてゐる。今日の學校教育というものが、大體これと同じような性格のものである。

トラベラーズ・チェック (Traveller's Cheque) 米國などでは盛んに利用されてゐるもので、最近日本の銀行でもこれを始めたところがある。旅行する時大金を所持しては不用心を關係から、その金を小切手にして、旅行先の同一銀行で現金にする仕組の旅行者用小切手。

ギフト・チェック (Gift Cheque) 銀行で取扱う贈答用小切手のこと。米國ではすでに五百以上の銀行がこれをやつてゐるが、日本でも昭和二十四年にお目見得した。進學、婚禮、誕生日、卒業祝いなどいろいろの用途に應じてきれいな圖案の入つた小切手で、金額はいくらでもよく、手数料は小額である。

トイチ 高利貸業者の暴利を形容する言葉で、十日に一分の利子をとるのを「トイチ」と俗に呼び、三割とるのを「トサン」また週一割のを「シウイチ」などという。

ボランティア・チェーンストア (Voluntary Chain Store) 一般に自由連鎖店、なにし任意連鎖店といわれ、普通のチェーンストアのように、本社か本店で、商品販賣に有利な場所を選び、一定の企畫の下に資金を投じて小賣店を直營するのに較べて、ボランティアの場合は、本社か本店が獨立の小賣店と特約して、その商品を販賣させる方式で、販賣に伴う宣傳

用小切手のこと。米國ではすでに五百以上の銀行がこれをやつてゐるが、日本でも昭和二十四年にお目見得した。進學、婚禮、誕生日、卒業祝いなどいろいろの用途に應じてきれいな圖案の入つた小切手で、金額はいくらでもよく、手数料は小額である。